



【香港からの海上橋は、画面右側に位置する人口島に入る。ここに珠海、マカオの各イミグレがあり、両地へのアクセス道路とつながる】

中国広東省の珠海に来た。
目的は、昨年10月に開通した香港・珠海・マカオ大橋（HZMB）を渡ることであった。（注1）

前日の夜半、長崎発のフライトは、香港国際空港に到着した。（注2）
HZMB 入口イミグレ（香港口岸）は空港ビルの至近である。
ここで珠海イミグレ（珠海口岸）行きのシャトルバスに乗り込む。（深夜でも20分間隔で運行している）
この時間、車窓からの景色は暗黒の海と、はるか遠くマカオや珠海のかすかな点光のみ。
それでも40分後には珠海イミグレ・ターミナル内の光の中にいた。
その夜が明け、投宿した珠海のホテルから、「この橋を渡った」という満足感に浸り、撮影したのがこの写真だ。

香港から橋がかかるなんて、26年前、初めてこの地を踏んだとき、想像にもしなかった事である。
その後、当地を訪問する機会も多くあり、その都度、その進捗を見守ってきた。
この壮大なプロジェクトが、発足後16年もの歳月を経て昨年10月24日に開通したのである。
中国 Big Bay Area 計画の一翼を担う橋の完成で、この地区の歴史が大きく変わろうとしている。（注3）
こうして今、この歴史のうねりの中に我が身をおいている。
この地との運命的な出会いに深い感慨と感動を覚える。

（注1） HZMB は Hong Kong Zhuhai Macao Bridge（香港珠海マカオ大橋）の略

●HZMBの基本情報

・全長 29.6 km（海上橋 22.9 km 海底トンネル 6.7 km）これに専用接続道を加えると 55 kmとなり、世界最長の海上橋となる。（因みに関門橋の約 50 倍の長さである）

（注2） 今回の香港行きは、この1月に就航したばかりの長崎-香港間 LCC（HK・express）を利用した。

（注3） Big Bay Area（大湾区）計画とは、中国広東省と香港、マカオを一体化する大経済圏構想